

【農林業経営体調査票様式】

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農林業構造統計



2020年農林業センサス 農林業経営体調査票

(2020年2月1日現在)



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号
基本指標番号						
修正がある場合→	8	8	8	8	8	8

○ 記入する前に、必ず「記入の仕方」をご覧ください。
 ○ この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。
 ○ 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★ 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。

★ マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

○ 調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。

記入していただく調査項目について

○ この調査票は 農業経営 (の枠内の 色の項目と、 色の項目)
 林業経営 (の枠内の 色の項目と、 の枠内の 色の項目)
 について記入してください。

なお、林業経営を行っている方が 枠について記入していただく場合には、設問の「農業(農産物、農作業)」を「林業(林産物、林業作業)」に読み替えて記入します。

【1】経営体の概要(すべての方が記入する項目です。)

1 経営形態
 経営は会社などの法人化をしていますか。
 該当するもの1つに必ず記入してください。

法人でない		101	<input type="checkbox"/>	個人経営の方は、2ページの1 個人経営内部の労働力へ
		0	<input type="checkbox"/>	団体経営の方は、4ページの2 団体経営内部の労働力へ
法人	農事組合法人	0	法人の方のみ記入してください。 法人番号(13桁)を記入してください。	法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。 個人のマイナンバー(12桁)を誤って記入しないようご注意ください。
	株式会社	0		
	合名・合資会社	0		
	合同会社	0		
	相互会社	0		
	各種団体	0		
農協	0	4ページの2 団体経営内部の労働力へ		
森林組合	0			
その他の各種団体	0			
その他の法人		0		
地方公共団体・財産区		0		

特例有限会社は株式会社に該当します。

⑥及び⑦欄について、
 従事した日数には、経理事務などの管理労働も含まれます。
 従事した日数には、手伝いなどで従事した場合も含まれます。
 従事した日数は、1日を8時間として計算してください。
 (例) 1日4時間ずつ → 2日で1日分
 毎日1時間ずつ → 8日で1日分

⑦欄について、
 農業生産関連事業とは、自ら経営していて、①自家で生産した農産物を使用、②所有または借り入れている耕地もしくは農業施設を利用している、のいずれかに該当する事業を行う場合をいいます。
 例えば、農産物の加工、小売業、観光農園、貸農園・体験農園、農家民宿、農家レストラン及び海外への輸出などが該当します。

⑦								⑧	
過去1年間で農業生産関連事業に従事した日数 (管理労働を含む)								過去1年間に	
従事しなかった	1	30	60	100	150	200	250	新たに親の農業経営を継承	新たに親の農業経営とは別部門を
		}	}	}	}	}	}	日	
	29	59	99	149	199	249	以上		
	日	日	日	日	日	日	上		
必ず1つに								該当する方	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 世帯としての所得
 世帯としての所得は、自営農業と自営農業以外の仕事でどちらが多いですか。
 該当するものに必ず記入してください。

自営農業による所得が多い	208	0
自営農業以外の所得が多い (不動産による所得は含み、年金は含まない)		0

(4) 地域の集落営農組織の構成農家
 地域の集落営農組織に参加していますか。
 該当するものに必ず記入してください。

参加していない	209	0
参加している	210	0
そのうち、オペレータとして従事	211	0

→ 次ページの3 後継者へ

⑤及び⑥欄について、
 過去1年間のふだんの状況(⑤)欄の「主に自営農業を行った」に記入された方のみ、⑧欄の過去1年間に「新たに親の農業経営を継承」または「親の農業経営とは別部門を新たに開始」に該当すれば記入してください。
 なお、「新たに親の農業経営を継承」とは、過去1年間に親の農業経営を継承して経営の責任者になった方をいいます。
 「親の農業経営とは別部門を新たに開始」とは、過去1年間に新たに親とは別部門での農業経営を開始し、その部門の経営の責任者となった方をいいます。

団体経営の方(経営を法人化している農家・林家を含む)のみ記入してください。

2 団体経営内部の労働力

林業経営について記入していただく場合、設問の「農業」を「林業」に読み替えて記入します。

(1) 経営主と、役員(代理を委任された者を含む)・構成員のうち過去1年間に農業と農業生産関連事業への従事日数があわせて60日以上の方について、記入してください。

(1)、(2)に記入するのは、経営主のほか、役員・構成員のうち、過去1年間に農業(管理労働を含む。)または農業生産関連事業に従事した者のみです。役員会に出席するだけの者は、記入する必要はありません。また、常雇い、臨時雇いの労働力は含みません。

従事した日数は、1日を8時間として計算してください。
 (例) 1日4時間ずつ → 2日で1日分
 毎日1時間ずつ → 8日で1日分

経営主	①		②						③						④						⑤					
	性別		出生の年月						過去1年間で農業に従事した日数(管理労働を含む)						過去1年間で農業生産関連事業に従事した日数(管理労働を含む)						過去1年間の主な状況					
	いずれかに		該当する元号と出生の年月を記入してください。						60 60 100 150 200 250						60 60 100 150 200 250						主に農業に従事					
	男	女	元号			出生の年月			必ず1つに						必ず1つに						主に農業以外の事業に従事					
		大正	昭和	平成	年	月													必ず1つに							
経営主	0	0	0	0	0	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) (1)に記入した方以外で、過去1年間に農業と農業生産関連事業への従事日数があわせて60日未満の方について、実人数を記入してください。

男 (人)	女 (人)
222	223

農業生産関連事業とは、自ら経営していて、①自家で生産した農産物を使用、②所有または借り入れている耕地もしくは農業施設を利用している、のいずれかに該当する事業を行う場合をいいます。
 例えば、農産物の加工、小売業、観光農園、貸農園・体験農園、農家民宿、農家レストラン及び海外への輸出などが該当します。

林業経営について記入していただく場合、設問の「農業」を「林業」に読み替えて記入します。

3 後継者

5年以内に農業経営を引き継ぐ後継者(予定者を含む。)を確保していますか。

該当するもの1つに必ず記入してください。

確保している	親 族		231
	親族以外の経営内部の人材		
	経 営 外 部 の 人 材		
経営を開始または継承直後のため、5年以内に農業を引き継がない			
確保していない			

林業経営について記入していただく場合、設問の「農業」を「林業」に読み替えて記入します。

常雇い、臨時雇いには、1(2)の個人経営の世帯員及び2(1)・(2)の団体経営の経営主・役員などは含めないでください。
 常雇いについては、常雇いしている方全員を記入していただくため、5人以上の常雇いがいた場合は、補助票に記入してください。
 従事日数には、管理労働を含みます。
 常雇いの従事日数の合計には、補助票に記入していただいた分を含め、常雇いしている方全員の従事日数の合計を記入してください。

4 常雇い

過去1年間に農業経営または農業生産関連事業のために常雇いした人(あらかじめ7か月以上の契約で雇った人)について、記入してください。また、男女別に従事した日数の合計を記入してください。

	①		②						
	性別		出生の年月						
	いずれかに		該当する元号と出生の年月を記入してください。						
	男	女	元号			出生の年月			
大正			昭和	平成	年	月			
1	0	0	0	0	0	8	8	8	8
2	0	0	0	0	0	8	8	8	8
3	0	0	0	0	0	8	8	8	8
4	0	0	0	0	0	8	8	8	8

5 臨時雇い

過去1年間に日雇・季節雇などで、農業経営または農業生産関連事業のために臨時雇いした人(手伝いなどを含みます。)について、実人数と男女別に従事した日数の合計を記入してください。

		農業		農業生産関連事業		
		実人数	(人)	実人数 (人)		
男	252	8	8	258	8	8
女	253	8	8	259	8	8
		農業		農業生産関連事業		
		従事日数の合計	(人日)	従事日数の合計 (人日)		
男	255	8	8	261	8	8
女	256	8	8	262	8	8

過去1年間に農業経営または農業生産関連事業のために1か月以上の契約で雇った人について、実人数を記入してください。

		農業		農業生産関連事業		農業		農業生産関連事業	
		従事日数の合計	(人日)	従事日数の合計	(人日)	実人数	(人)	実人数	(人)
男	242	8	8	245	8	247	8	248	8
女	243	8	8	246	8	249	8	250	8
男	264	8	8	267	8	264	8	267	8
女	265	8	8	268	8	265	8	268	8

【3】土地

土地の状況を記入してください。(土地登記簿上の地目や面積ではなく、現状の地目や面積を記入してください。また、居住地以外の他の市区町村にある土地を含みます。)

田・畑・樹園地

		田		畑		樹園地	
		(ha)	(a)	(ha)	(a)	(ha)	(a)
		(町)	(反)	(町)	(反)	(町)	(反)
経営している	301	8	8	311	8	321	8
そのうち、 所有している	302	8	8	312	8	322	8
そのうち、 借りている	303	8	8	313	8	323	8
貸している	304	8	8	314	8	324	8

実質的に経営を任せている場合は「貸している」に記入してください。原野化し、現状が耕地でないものは除きます。

		畑	
		(ha)	(a)
		(町)	(反)
経営している畑のうち、牧草専用	326	8	8

ハウス・ガラス室とは、その中で普通の姿勢で作業できるものをいいます。水稻の育苗だけ、きのこの栽培だけに利用したものは除きます。

耕地以外(山林・原野など)

山林・原野などの耕地以外の土地で過去1年間に採草地や放牧地として利用した土地面積を記入してください。

		面積	
		(ha)	(a)
		(町)	(反)
耕地以外で利用した土地面積	341	8	8

ハウス・ガラス室等

過去1年間に施設園芸に利用したハウス・ガラス室及び加温温室の実面積を記入してください。

		実面積	
		(a)	(㎡)
		(反)	
ハウス・ガラス室	351	8	8
そのうち、加温温室	352	8	8

【4】農業生産

始めから販売を目的とせず、自給用に作付け(栽培)した面積は含めないでください。

1 過去1年間に販売を目的として作付け(栽培)した延べ面積を記入してください。

		(ha)		(a)	
		(ha)	(a)	(反)	(畝)
稲・麦・雑穀	水 稲(食用)	403	8	8	8
	陸 稲(食用)	404	8	8	8
	稲(飼料用)	405	8	8	8
	小 麦	407	8	8	8
	そのうち、田で作付	408	8	8	8
	二条大麦	409	8	8	8
	六条大麦	410	8	8	8
	裸 麦	411	8	8	8
	そ ば	413	8	8	8
	その他の雑穀 (あわ、きび、ひえ等)	414	8	8	8
いも類	原料用ばれいしょ (でんぷん用)	416	8	8	8
	食用ばれいしょ (加工用を含む)	417	8	8	8
	原料用かんしょ (でんぷん用)	418	8	8	8
	食用かんしょ (加工用を含む)	419	8	8	8
豆 類	大 豆	421	8	8	8
	そのうち、田で作付	422	8	8	8
	小 豆	423	8	8	8
	その他の豆類	424	8	8	8
工芸農作物	さとうきび	426	8	8	8
	なたね	427	8	8	8
	茶	428	8	8	8
	てんさい(ビート)	429	8	8	8
	どんぼくいも	430	8	8	8
	その他の工芸農作物	431	8	8	8
	432	8	8	8	8

未成熟の豆類(「えだまめ」、「さやいんげん」、「さやえんどう」、「グリーンピース」など)はここに含めず、「その他の野菜」に記入してください。
「その他の工芸農作物」には、たばこ、いぐさ、ホップ、ごま、ラベンダー、薬用作物などの合計を記入してください。

稲・麦・雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の面積がある方のみ記入してください。

2 水稻(食用)、小麦、大豆以外の上記品目(稲・麦・雑穀、いも類、豆類、工芸農作物)は、販売を目的として田で作付けた面積を記入してください。

		(ha)		(a)	
		(ha)	(a)	(反)	(畝)
432		8	8	8	8

田で作付けた面積のみを記入し、畑で作付けた面積は記入しないでください。

3 過去1年間に販売を目的として作付け(栽培)した野菜・果樹類の品目コード及び延べ面積を露地作、施設作ごとに記入してください。

野菜・果樹類

品目コード	
根菜類	101:だいごん 102:にんじん 103:さといも 104:やまのいも (ながいもなど)
葉茎菜類	111:ほくざい 112:キャベツ 113:ほうれんそう 114:レタス 115:ねぎ 116:たまねぎ 117:ブロッコリー
果菜類	121:きゅうり 122:なす 123:トマト 124:ピーマン
野菜果実的	131:いちご 132:メロン 133:すいか
	191:その他の野菜
	201:温州みかん 202:その他のかんきつ 203:りんご 204:ぶどう 205:日本なし 206:西洋なし 207:もも 208:おうとう 209:びわ 210:かき 211:くり 212:うめ 213:すもも 214:キウイフルーツ 215:パインアップル 216:その他の果樹

「その他の野菜」には、「もやし」、「えだまめ」、「スイートコーン」、「ごぼう」、「にら」、「かぼちゃ」、「アスパラガス」など該当しなかった野菜の合計を記入してください。
果樹類の面積には、未成園を含みます。

品目コード	露地作延べ面積		施設作延べ面積	
	(ha)	(a)	(a)	(m)
888①	8	8	8	8
888②	8	8	8	8
888③	8	8	8	8
888④	8	8	8	8
888⑤	8	8	8	8
888⑥	8	8	8	8
888⑦	8	8	8	8
888⑧	8	8	8	8
888⑨	8	8	8	8
888⑩	8	8	8	8
888⑪	8	8	8	8
888⑫	8	8	8	8

4 過去1年間に販売を目的として作付け(栽培)した花き・花木及びその他作物の延べ面積を露地作、施設作ごとに記入してください。

花き・花木

花き苗、花木苗を含みます。

花きの露地、施設面積がある方のみ記入してください。

		露地作延べ面積				施設作延べ面積			
		(ha)	(a)	(町)	(反)	(a)	(m ²)	(畝)	(m ²)
花き	463	8	8	8	8	8	8	8	8
花木	465	8	8	8	8	8	8	8	8

切り花類	467	0
球根類	468	0
鉢もの類	469	0
花壇用苗もの類	470	0

その他の作物

		露地作延べ面積				施設作延べ面積			
		(ha)	(a)	(町)	(反)	(a)	(m ²)	(畝)	(m ²)
その他の作物	472	8	8	8	8	8	8	8	8
	473	8	8	8	8	8	8	8	8

販売を目的として栽培した水稻苗、野菜苗、果樹苗、造林用の苗木、芝、稲以外の飼料用作物、青刈り作物など、どの欄にも該当しなかった作物の合計を記入してください。

家畜

共同放牧をしたり、外部に預託している家畜を含めます。会社などから飼養を委託されて飼養管理しているもの(家畜・飼料などは委託側から提供され、飼養管理労働のみに従事した場合は除きます)は除きます。

6 現在、販売する予定で飼っている豚の頭数を記入してください。

		(万)	(千)	(百)	(十)	(頭)
子取り用めす豚	490	8	8	8	8	8
肥育中の豚	491	8	8	8	8	8

5 現在、飼っている牛の頭数を目的別に記入してください。

			(万)	(千)	(百)	(十)	(頭)
総数		475	8	8	8	8	8
搾乳目的	2歳(24か月齢)以上	477	8	8	8	8	8
	2歳(24か月齢)未満	478	8	8	8	8	8
販売目的	和牛などの肉用種	子取り用めす牛	479	8	8	8	8
		肥育中の牛(肉用として販売)	480	8	8	8	8
		売る予定の子牛など(種おすを含む)	482	8	8	8	8
	和牛と乳用種の交雑種	肥育中の牛(肉用として販売)	484	8	8	8	8
		売る予定の子牛(肥育用もと牛として販売)	485	8	8	8	8
		肉用として飼っている乳用種	487	8	8	8	8
	488	8	8	8	8		

搾乳する予定のない子牛は、「売る予定の子牛(など)(482、485、488)」に種類ごとに記入してください。

7 現在、卵の販売を目的として飼っている採卵鶏の羽数を記入してください(ひなどりを含みます)。

		(万)	(千)	(百)	(十)	(羽)
採卵鶏	492	8	8	8	8	8

8 過去1年間に出荷したブロイラーの羽数を記入してください。

		(万)	(千)	(百)	(十)	(羽)
ブロイラー	493	8	8	8	8	8

その他

9 【4】の1から8以外で、販売を目的として、きのこの栽培やその他の農業経営を行っていますか。該当するものに必ず記入してください。

行っていない	495	0	
行っている	きのこの栽培	496	0
	その他の農業経営	497	0

その他の農業経営には、馬、羊、やぎなどの飼養、養蜂、養蚕などを含みます。

【5】過去1年間の農産物の販売

林業経営について記入していただく場合、設問の「農産物」を「林産物」に読み替えて記入します。

1 過去1年間の農産物の販売金額(売上高)について、該当するもの1つに必ず記入してください。

販売金額には、売上金額を記入してください(肥料代、農薬代などの経費を引かない。)

販売なし		501	0
農産物の販売あり	50万円未満		0
	50～100万円未満		0
	100～300万円未満		0
	300～500万円未満		0
	500～1,000万円未満		0
	1,000～3,000万円未満		0
	3,000～5,000万円未満		0
	5,000万～1億円未満		0
1億円以上		0	

「1億円以上」の場合は、1千万円単位で金額を記入してください。

億	千万	円
502	8	8
	8	8
	8	8
	8	8

【農産物の販売金額には次のものを含めます】

- 畜産物、栽培きのこ、養蜂、まゆ、耕地で栽培した林業用の苗木などを含めます。
- 自ら営む農家レストランや農産物加工品の製造に仕向けた農産物の見積金額
- 観光農園を営んでいる場合の入園料(入場料)(入園料で農産物を一定量収穫させる場合)
- 貯蔵しておいた農産物を過去1年の間に販売した金額
- 売買契約済みであるが、代金を受け取っていない分の見積金額

林産物の販売金額には栽培きのこ、林業用苗木の販売額は含みません。

農産物の販売がある方のみ記入してください。

2 過去1年間の販売金額が上位3位までの該当順位に部門コードを記入し、合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

部門コード	部門コード	割
01:水稲・陸稲	1位 503	8 8 8 8
02:麦類	2位 505	8 8 8 8
03:雑穀・いも類・豆類	3位 507	8 8 8 8
04:工芸農作物		
05:露地野菜		
06:施設野菜		
07:果樹類		
08:花き・花木		
09:その他の作物		
10:酪農		
11:利用牛		
12:養豚		
13:養鶏		
14:養蚕		
15:その他の畜産		

経営部門が4部門以上である場合は、割合の合計が10に満たないこともあります。きのこの栽培は「その他の作物」に、地鶏や養蜂は「その他の畜産」に含めます。

3 過去1年間に農産物を販売したすべての出荷先を記入し、そのうち、売上1位の出荷先を記入してください。

出荷先		519	
農協へ	509	0	
農協以外の集出荷団体へ	510	0	
卸売市場へ	511	0	
小売業者へ	512	0	
食品製造業・外食産業へ	513	0	
消費直費に 接者 販 売	自営の農産物直売所で	514	0
	その他の農産物直売所で	515	0
	インターネットで	516	0
	他の方法で(無人販売など)	517	0
その他へ	518	0	
うち売上1位の出荷先(1つに)		0	

【消費者に直接販売】には自ら生産した農産物またはそれを使用した加工品を消費者に販売しているものが該当します。「その他の農産物直売所」には、共同で運営している直売所または他の人が運営している直売所が該当します。

「過去1年間の林産物の販売」関連

林産物の販売がある方のみ記入してください。

4 過去1年間に林産物の販売金額の合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

合計に占める割合		割
用材	立木で販売	931 8 8
	素材で販売	932 8 8
	ほだ木用原木を販売	933 8 8
	特用林産物を販売	934 8 8

【6】過去1年間の農作業の受託(請負)

林業経営について記入していただく場合、設問の「農作業」を「林業作業」に読み替えて記入します。

1 過去1年間の農作業の受託(請負)による料金収入について、該当するもの1つに必ず記入してください。

		601
受託料金収入なし		0
農作業の受託料金収入あり	50万円未満	0
	50～100万円未満	0
	100～300万円未満	0
	300～500万円未満	0
	500～1,000万円未満	0
	1,000～3,000万円未満	0
	3,000～5,000万円未満	0
	5,000万～1億円未満	0
1億円以上	0	

「1億円以上」の場合は、1千万円単位で金額を記入してください。

		億	千万円
602	8	8	8

「過去1年間の林業作業の受託(請負)」関連

林業作業の受託料金収入がある方のみ記入してください。

5 過去1年間に林業作業の受託料金収入の合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

合計に占める割合	割合
造林・保育の受託 941	88
素材生産の受託 942	88
素材生産(立木買い) 943	88

6 過去1年間によそから受託した(請け負った)林業作業の実面積を記入してください。

		実面積 (ha)			
		(町)	(反)	(畝)	
植林 951		8	8	8	8
下刈りなど 952		8	8	8	8
間切捨間伐 954		8	8	8	8
伐利用間伐 955		8	8	8	8
主受託 957		8	8	8	8
伐立木買い 958		8	8	8	8

他に再委託している面積は含みません。

受託料金収入には、農作業とともに、実質的に「経営自体」を引き受けている場合は含めないでください。
その場合は、5ページ【3】土地の借りている土地の面積に記入してください。

農作業の受託料金収入がある方のみ記入してください。

2 水稲作作業で、過去1年間によそから受託した(請け負った)作業の実面積を記入してください。

		実面積 (ha)				
		(町)	(反)	(畝)		
作業ごとに受託	育苗 603	8	8	8	8	
	耕起・代かき 604	8	8	8	8	
	田植 605	8	8	8	8	
	防除 606	8	8	8	8	
	稲刈り・脱穀 607	8	8	8	8	
	乾燥・調製 608	8	8	8	8	
	すべての水稲作作業を一括して受託 609		8	8	8	8

3 さとうきび作作業で、過去1年間によそから受託した(請け負った)作業の実面積を記入してください。

		実面積 (ha)			
		(町)	(反)	(畝)	
作業ごとに受託	耕起・整地 610	8	8	8	8
	植付け 611	8	8	8	8
	中耕・培土 612	8	8	8	8
	防除 613	8	8	8	8
	収穫 614	8	8	8	8
すべてのさとうきび作作業を一括して受託 615		8	8	8	8

4 水稲、さとうきび以外で、過去1年間によそから受託した(請け負った)農作業すべてに記入してください。

該当するすべてに	麦作 616	0
	大豆作 617	0
	野菜作 618	0
	果樹作 619	0
	飼料用作物作 620	0
	工芸農作物作 (さとうきび作を除く。) 621	0
	その他の作物作 622	0
	畜産 623	0
	酪農ヘルパー 624	0

【7】農業経営の特徴的な取組

- 1 農業経営について青色申告を行っていますか。該当するもの1つに必ず記入してください。
- 2 青色申告を行っている方について、青色申告を何年間継続して行っていますか。該当するもの1つに必ず記入してください。

行っていない	0	701	}	→	702	1年	2年	3年	4年	5年以上
行っている	0					0	0	0	0	
正規の簿記	0					0	0	0	0	
簡易簿記	0					0	0	0	0	
現金主義	0	0				0	0	0		

「正規の簿記」とは損益計算書と貸借対照表が導き出せる組織的な簿記の方式（一般的には複式簿記をいいます（青色申告特別控除額：最高65万円））。

「簡易簿記」とは「正規の簿記」以外の簡易な帳簿による記帳（青色申告特別控除額：最高10万円）をいいます。

「現金主義」とは現金主義による所得計算の特例を受けているものをいいます（青色申告特別控除額：最高10万円）。経営を法人化し青色申告を行っている場合は「正規の簿記」に記入してください。

- 3 有機農業に取り組んでいますか。取り組んでいる場合は、取り組んでいる面積を品目別に記入してください。

取り組んでいない	0	}	→	704	(ha)	(a)	(畝)	(反)	(畝)				
取り組んでいる	0									0	0	0	0
水 稻	0									0	0	0	0
大 豆	0									0	0	0	0
野 菜	0									0	0	0	0
果 樹	0									0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0								

有機農業とは、化学肥料及び農薬を使用せず、遺伝子組換え技術も利用しない農業のことで、減化学肥料・減農薬栽培は含まれません。

なお、自然農法に取り組んでいる場合や有機JASの認証を受けていない方でも、化学肥料及び農薬を使用せず、遺伝子組換え技術も利用しないで農業に取り組んでいる場合、有機農業に該当します。

なお、販売を目的とせず自給用のみに作付けた（栽培した）場合は、含めません。

- 4 効率的かつ効果的な農業経営を行うためにデータ（財務、市況、生産履歴、生育状況、気象状況、栽培管理などの情報）を活用していますか。その際、どのようにデータを活用していますか。該当するもの1つに必ず記入してください。

データを取得して活用	0	709	}	→	709	「データを取得して活用」とは、スマートフォン、パソコンなどを用いて気象、市況などのデータを取得し、農業の経営に活用することをいいます。
データを取得・記録して活用	0					「データを取得・記録して活用」とは、スマートフォン、パソコンなどを用いて生産履歴などのデータを取得・記録（記録のみの場合を含む。）し、農業の経営に活用することをいいます。
データを取得・分析して活用	0					「データを取得・分析して活用」とは、「データを取得して活用」や「データを取得・記録して活用」で把握したデータに加え、センサー、ドローンなどを用いては場環境や生育状況などのデータを取得し、専用のアプリなどで分析して農業の経営に活用することをいいます。
データを活用した農業を行っていない	0					

【8】農業生産関連事業

過去1年間の農業生産に関連した売上金額の合計について、該当するもの1つに必ず記入し、売上金額がある方は、合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

売 上 な し	0	801	}	→	801	合計に占める割合	割		
100 万円 未 満	0	0				農産物の加工	802	8	8
100 ～ 500万円未満	0	0				小 売 業	803	8	8
500 ～ 1,000万円未満	0	0				観 光 農 園	804	8	8
1,000 ～ 5,000万円未満	0	0				貸 農 園・体 験 農 園 等	805	8	8
5,000万 ～ 1 億 円 未 満	0	0				農 家 民 宿	806	8	8
1 ～ 10 億 円 未 満	0	0				農 家 レ ス ト ラ ン	807	8	8
10 億 円 以 上	0	0				海 外 へ の 輸 出	808	8	8
						再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー 発 電	809	8	8
			そ の 他	810	8	8			

林業経営を行っている方のみ記入してください。

【9】山林及び林業作業

1 山林について、面積を記入してください。

		(ha)		(a)	
		(町)	(反)	(町)	(畝)
所有している山林	902	8	8	8	8
そのうち、貸している山林	903	8	8	8	8
借りている山林	904	8	8	8	8
保有山林 (902-903+904)	901	8	8	8	8

「貸している山林」には、自分の土地を他人に分取させている山林のほか、他人が地上権の設定をした山林を含めます。
「借りている山林」には、他人の土地に分取している山林のほか、他人の土地に地上権を設定した山林を含めます。

2 保有山林のうち、期間を定めて一連の作業(管理を含む。)を一括して他に任せている山林面積を記入してください。

		(ha)		(a)	
		(町)	(反)	(町)	(畝)
任せている山林面積	905	8	8	8	8

林業経営を委託している面積のことで、地上権を設定している山林や作業ごとに委託(請け負わせ)している山林面積は含みません。

3 保有山林以外で、期間を定めて一連の作業(管理を含む。)を一括して他から任されている山林面積を記入してください。

		(ha)		(a)	
		(町)	(反)	(町)	(畝)
任されている山林面積	906	8	8	8	8

林業経営を受託している面積のことで、地上権の設定をした山林や作業ごとに受託(請負)している山林面積は含みません。

4 保有山林における過去5年間の林業作業について、該当するものすべてに記入してください(委託した(請け負わせた)作業を含みます。)

該当するすべてに	植 林	907	0	
	下 刈り など	908	0	
	間 伐	切捨間伐	909	0
		利用間伐	910	0
	主 伐	911	0	

「下刈りなど」には、枝打ち、つる切り、除伐、倒木起こしなどを含みます。

5 保有山林における過去1年間の実作業面積について記入してください(委託した(請け負わせた)作業を含みます。)

		(ha)		(a)	
		(町)	(反)	(町)	(畝)
植 林	912	8	8	8	8
下刈りなど	913	8	8	8	8
間 伐	切捨間伐	914	8	8	8
	利用間伐	915	8	8	8
主 伐	916	8	8	8	8

実作業面積のため、1haの山林に対して、下刈りを2度行った場合でも1haと記入してください。

【10】素材生産

素材生産には間伐のつぎ素材として利用したものも含みます。

1 保有山林において、自ら伐採した過去1年間の素材生産量を記入してください。

		(m ³)
素材生産量	922	88888

2 受託(請負)もしくは立木買いによる過去1年間の素材生産量を記入してください。

		(m ³)
素材生産量	923	88888
そのうち、立木買いによる	924	88888

【11】林業従事

過去1年間に常雇いまたは臨時雇いした人のうち、150日以上林業労働に従事した人について、実人数を記入してください。

		実人数(人)
150日以上従事した人	925	888

5ページの4常雇いと5臨時雇いに記入のある方は上記に該当する方がいるか確認してください。

【12】都道府県設定項目

該当する項目に記入してください。

- 1 今後5年間で外国人労働力の導入意向はありますか。該当する項目を記入してください。

- 1:導入意向あり
- 2:導入意向なし
- 3:既に導入している

991

外国人労働力の導入意向

8

- 2 生産緑地地区内に農地を所有していますか。所有している場合は、「1」を記入してください。

992

生産緑地地区内の農地の有無

8

上記【12】の2で「1」と回答した方のみ記入してください。

- 3 生産緑地地区内で生産した農産物を販売している場合には「1」を記入してください。

993

生産緑地地区内で生産した農産物の販売の有無

8

- 4 今後5年間で現在の生産緑地地区内での作付面積についてどうしたいと考えていますか。該当する項目を記入してください。

- 1:規模拡大
- 2:現状維持
- 3:規模縮小もしくは離農

994

生産緑地地区内での作付面積の意向

8

- 5 今後5年以内に、農業生産に関連した事業への取組みを検討している場合、または現に取り組んでいる場合、その事業種類を下記の該当する項目の番号から選んで記入してください。

- 1:農家民宿
- 2:農家レストラン
- 3:「1」、「2」以外の6次産業化

995

農業生産関連事業への取組み検討

8

【農林業経営体調査客体候補名簿様式】

この様式は調査員の方が聞き取りにより記入してください。

秘

2020年農林業センサス 農林業経営体調査 客体候補名簿

名称	都道府県			市区町村			旧市区町村			農業集落			調査区			客体番号		
基本指標番号	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
修正がある場合→	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

住所または所在地	町丁・字・番地・号										ビル・マンション等名(階、号室まで)									
修正がある場合→																				

経営体の名称																経営主の氏名(代表者)		
修正がある場合→																修正がある場合→		

郵便番号	8	8	8	-	8	8	8	8	電話番号	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	修正がある場合→	8	8	8	-	8	8	8		8	修正がある場合→	8	8	8	8	8	8	8	8	8

注:電話番号は、「-」(ハイフン)を除いて市外局番から左づめで記入してください。

調査客体の状況について、いずれかに記入してください。

調査区内にいない(転居等)	(1)	0	調査はここで終了となります。
調査不能		0	
調査区内にいる		0	

いずれかに記入

	前回	
家族による経営である (以前に農家または林家であった方や、家族による経営を法人化している場合もこちらに該当します)		0
家族による経営でない (集落営農等の組織経営を代表(経営)している方)	(2)	0

注:1人暮らしまたは家族の中で1人で農業や林業を行っている場合も「家族による経営である」としてください。

(注意) 家族による経営でない場合

- 当該経営とは別に、家族としてなど農業や林業の経営を他にも行っているかどうかを聞き取ります。
- 他にも経営を行っている場合は、その経営体が客体候補一覧表に記載されているか確認します。

当該経営について、引き続き裏面の判定を進めてください。

No.																				
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

現在の土地に関わる状況を記入してください。	前回値	(a)	(ha)	(a)
		(畝)	(町)	(反)
所有している面積 (すでに、山林・原野化した耕地は含みません。) (田・畑・樹園地の面積の合計)		(3)	8	8
うち、貸している耕地 (1年のうち、1作だけの期間を貸し付け、残りの期間を自らが利用した耕地は除く。)		(4)	8	8
うち、耕作放棄している面積 (過去1年以上作付けしておらず、数年の間に再び作付けする考えのない土地)		(5)	8	8
経営耕地面積 (自ら所有し耕作している耕地と他から借りて耕作している耕地の合計)		(6)	8	8
保有山林面積 (所有している山林のうち、貸している山林を除き、借りている山林を含めた面積)		(7)	8	8

過去1年間の農産物販売金額が (いずれかに記入)	販売なしまたは 15万円未満	前回	0
	15万円以上	(8)	0

(9)～(15)で該当するものすべてに記入してください。

農業	経営耕地面積が30a以上である		(9)	0
	右下の表(物的指標)に示す規模以上の経営を営んでいる		(10)	0
	農作業及び選果選別等の受託(農業サービス)を行っている		(11)	0
林業	保有山林面積が 3ha以上で	過去5年間に育林または伐採を行っている	(12)	0
		2020年を計画期間に含む「森林経営計画」を作成している	(13)	0
	委託を受けて造林・保育を行っている		(14)	0
	委託を受けてまたは立木を購入して200㎡以上の素材生産を行っている		(15)	0

いずれにも記入がない場合

いずれかに記入がある場合

物的指標

- 露地野菜作付け面積が15a
- 施設野菜栽培面積が350㎡
- 果樹栽培面積が10a
- 露地花き栽培面積が10a
- 施設花き栽培面積が250㎡
- 搾乳牛飼養頭数が1頭
- 肥育牛飼養頭数が1頭
- 豚飼養頭数が15頭
- 採卵鶏飼養羽数が150羽
- プロイラー年間出荷羽数が1,000羽
- その他調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円に相当する事業の規模

学校、試験場などである (いずれかに記入)	該当しない	前回	0
	該当する	(16)	0

調査票を配布

調査はここで終了となります。

※ 本名簿はUDフォント
(UD=Universal Design)
を使用しています。